OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	カンティアーナ　第21号　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	カンティアーナ. 1990, 21
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66694
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

◆『哲学論叢』より『カンティアーナ』への改称について。『哲学論叢』は一九七七年に創刊しました。その後、過去に東京文理科大学より、また現在も京都の哲学論叢刊行会より、同名の雑誌が刊行されていることを知りました。そこで、後発の本誌を今回より改称することにした次第です。どうかご理解下さいますようお願い申し上げます。なお、号数は『哲学論叢』からの通巻とします。

◆前号刊行後、以下の大阪カント・アーベント例会を行いました。

第十六回　和田隆子氏（阪南大学非常勤講師）
「ハイデガーにおける形而上学の問題Ⅱ」
一九九〇年七月七日、大阪大学文学部第一会議室

第十七回　中谷隆雄氏（近畿大学非常勤講師）
「ウィトゲンシュタインの言語ゲームについて」
一九九〇年十二月八日、大阪明浄女子短期大学

◆アメリカ合衆国、エモリー大学、R・A・マックリール教授の講演「ディルタイの精神科学論における自己理解と解釈の課題」が、一九八九年十月三十日、大阪大学文法経講義棟文41教室にて行われました。同教授の承認をえてその翻訳を本号に掲載しました。

◆アメリカ合衆国、ニューヨーク州立大学、カー・キョング・チョー教授を、日本学術振興会の基金をえて、大阪大学招へい教授として、一九九〇年四月一日より八月二十一日まで本講座にお迎えしました。その間、同教授の講演「現象学の東洋的な見方」が、一九九〇年六月二日、大阪大学文法経講義棟文41教室にて行われました。次号に掲載予定です。

（I記）

今号より
『哲学論叢』を
『カンティアーナ』と
改称致しました。
号数は通巻とします。

一九九〇年十二月二十五日　印刷
一九九〇年十二月二十五日　発行

「カンティアーナ」第二十一号　非売品

豊中市待兼山町一番一号

編集者
兼
発行者　大阪大学文学部
哲学哲学史第二講座
（大阪カント・アーベント）

印刷所　株式会社　天理時報社
奈良県天理市稲葉町八〇番地
電話（〇七四三六）四―一四一一